

# 令和4年度事業計画書

(令和4年5月1日～令和5年4月30日)

## 《事業の概要》

写真を通じて、日本文化の進展に寄与することを目的に、令和4年度は下記の事業を実施する

## 《中長期戦略企画室》

1. 中長期戦略企画室のテーマを令和4年度以降は「日本写真会館構想」検討・具体化に絞る
2. 日本写真会館構想の方向性の明確化とスケジュール化の推進
  - ① 今年度(令和4年度)に方向性(建替えか、売却・移転か)の明確化を図る
  - ② その見直しにより、築49年になる会館の修繕計画を併せて設定する

## 《総務部》

1. 新型コロナウイルス感染状況への対処を施した、第76回定時会員総会等のスムーズな運営推進
2. 全国ブロック、都道府県との情報共有化を始めとする連携強化のため、オンライン合同会議開催(これまでは1回/年12月に通常会議・開催であったが、同会議を含め、2回/年以上の開催)
3. 令和3年度功労者表彰(写真芸術の発展に功績のあった個人及び団体の表彰)
4. 写館協との事業連携(アライアンス)の検討と具体化
5. 日本写真著作権協会(JPCA)との連携強化による、会員への著作権思想の更なる浸透と付番される著作権番号有効活用の検討  
※ 第76回定時会員総会(令和4年6月29日)に併せて、JPCA共催「写真著作権セミナー」を開催予定
6. 国際交流活動の推進
  - ① PPJの、円滑な活動に向けた体制の見直し
  - ② WPC2022入賞作品展の開催
  - ③ WPC2023応募促進及び入賞に向けた活動強化：入賞展開催による認知度向上と応募促進
7. 公益社団法人化に向けた問題点の整理と方向性の協議・明確化
8. 成人年齢18歳引き下げに伴う成人式典情報の収集
9. 事務局業務の効率的遂行(担当業務、事務スペース見直し含)及び日本写真会館・テナントの管理徹底

## 《財務部》

1. 令和4年度予算の遂行管理の徹底  
・事業の効率化と採算性を考慮し、各部予算遂行を管理
2. 令和5年度予算の策定：各部と連携し、事業計画内容を精査の上、予算案を策定
3. 日本写真会館構想を踏まえた、中期予算計画の策定

## 《事業部》

1. スクールフォトビジネスの構築
  - ① 第69回全国展フォトコンテスト・学生部門の企画推進(文化部に協力)
  - ② 高校生向け撮影セミナーの実施とマニュアル化の推進
2. コロナ終息時の医療従事者への「感謝」を込めた、家族写真撮影(無料)提案の検討。併せて実施に向けた準備推進
3. 撮影業務のベースとなる日本の文化・風俗・習慣を守り、育むための神社関係者との連携検討
4. NPO法人「よみがえれ卒業アルバム」に対する協力検討

## 《文化部》

1. 全国展フォトコンテストの実施
  - ① 第68回全国展表彰式・入賞入選写真展実施  
・表彰式：令和4年5月28日(土)、東京都美術館(東京・上野)予定  
・写真展：東京都美術館(上野) 令和4年5月28日(土)～6月4日(土)  
富士フィルムフォトサロン大阪 令和4年9月23日(金・祝)～9月29日(木)  
ポートレートギャラリー 令和4年12月22日(木)～12月28日(水)  
・「第68回全国展フォトコンテスト入賞入選作品集」の発行  
発行：令和4年5月予定・販売価格：2,000円/冊(税込)
  - ② 第69回全国展の企画推進  
・文協会員、一般層、学生の応募増のための働きかけ・仕組みづくり  
・更なる収支改善のための、経費見直し等
2. 第71回「写真の日」記念講演の開催  
・日時：令和4年5月28日(土)(第68回全国展表彰式と同日開催)

- ・ 会 場 : 東京都美術館(東京・上野)
- ・ 講 師 : 写真家 水谷たかひと
- 3. ポートレートギャラリーの維持運営
  - ① 更なる活性化に向けた、プロカメラマン・主要写真団体・写真クラブへの PR と公募働きかけ
  - ② 維持対策の実施
    - ・ 展示用レンタル額の一部更新等、メンテナンスの実施
- 4. 写真普及、及び写真文化・芸術に関する調査・研究・表彰(継続実施)
  - ① 七五三・成人式等、日本の慣習・文化を紹介、写真館で残す写真の意義・素晴らしさを伝播
  - ② 写真に携わる一般人や高校生への写真普及事業の展開
    - ・ 写真普及を目的として写真愛好家や都道府県高等学校写真連盟などの写真活動を支援し、当協会賞を設定、優秀な作品の顕彰に寄与
  - ③ 最新写真情報及び歴史の調査・研究並びにその活用
  - ④ 写真作品・写真に関する書籍・情報の収集・保存
    - ・ 写真館収蔵写真の散逸を防ぎ保存を推進する
  - ⑤ 写真愛好家の育成拡大
    - ・ 地域社会における、写真愛好家の育成拡大のための写真教室開催の検討企画
- 5. 全国 10 ブロックへの講師派遣の推進
  - ・ 各ブロック主催の講習会や研修会等に講師を派遣又は派遣にかかわる経費の補助
- 6. 下岡蓮杖翁の顕彰
  - ・ 令和 5 年 3 月 3 日(金)染井霊園(東京・巣鴨)墓参

## 《広 報 部》

1. 文協の知名度・ステイタス向上ための活動推進(文協からの情報発信と受信窓口としての活動の展開)
  - ・ 情報収集力、情報発信力の強化
  - ・ 会員相互の情報共有・交流の活性化
2. 出版関係
  - ① 機関誌「写真文化」の内容の充実
    - ・ 印刷特性を生かす良質写真の掲載、インターネット題材への積極的なリンクによる相乗効果、「情報交換会」等の活動をベースとした情報収集・企画検討と誌面への反映等
  - ② 「写真文化」年間発行数減(6 回/年→4 回/年)に対する補完及び、新たなトライアルとしてメーマガジン「写真文化+(プラス)」のタイムリーな発信
  - ③ 「写真文化」での文協事業の報告告知 : 総会、理事会、各事業部報告等
  - ④ 全国会員からの情報収集の確立(ブロック・都道府県広報担当との情報連携体制の構築)
3. IT広報関係
  - ① メールマガジン「写真文化+(プラス)」企画推進他、会員名簿電子化の有効活用推進(付加価値追加)
    - ・ 会員電子メールによるネットワーク作りの推進/未収都道府県からのメールアドレス収集促進
    - ・ 「日本文化と写真」ページの充実(節句・七五三・成人・年祝等、写真館で撮る写真の意味を訴求)
    - ・ 会員のホームページとのリンクによる活性化…ホームページアドレスの提供
  - ② 全国展入賞作品アーカイブの推進
    - ・ 全国展の認知度と自治体へのアプローチによる文協知名度の向上
  - ③ ニュースリリースの発行・配布(全国展フォトコンテスト、会長年頭所感等)

## 《教育訓練部》

1. 令和 4 年度第 59 回夏期写真大学講座の開催
  - ① 時代のニーズに合せた参加しやすいコース、開催期間短縮、受講料値下げで開催
    - ・ 開催期間は、8 月 3 日(水)~5 日(金)の 3 日間(前回迄より 1 日減)
    - ・ 受講料は各コースともに 15,500 円減額
  - ② 基礎、撮影、成人振付け撮影(新設)、学校写真(新設)の 4 コースを設定(C 応用、和装婚礼振付、七五三成人着付の各コースは中止)
  - ③ 技能検定合格に向けた内容とする。また、和装振付け撮影/学校写真コースは最終日試験合格の受講生に当協会よりコース終了認定証を授与する
2. 技能検定対策
  - ① 「写真職種・肖像写真デジタル作業(1・2 級)」
    - ・ 受検者減理由による隔年化実施の見通し(次回実施は令和 5 年)への、受検者増対策として、主要都市での写真映像関係教育機関と連携した検定試験実施可能な拠点づくりを推進
  - ② 「写真職種・学校写真作業」の新設検討及び、働きかけ